


① 研究テーマ	中国青島市の都市臨海部の水辺環境に対する来訪者の意識・行動に関する調査研究	
② 目的	<p>中国の山東省青島市は、山東半島南部に位置し膠州湾と黄海に面しており、1985 年に市場経済を導入することで港湾都市として発展し、今日では海洋産業の中心都市となっている。青島市の臨海部開発は 1898 年ドイツと清の間で締結された条約により、<u>膠州湾側で港湾整備が行われ、青島湾側では別荘や海浜住宅地区などの整備がなされた。これらの場所は今日でも歴史的文化的な面影を見せるが、周辺部の急激な開発により場所性や地域性が失われてきている。</u>また、<u>青島湾から浮山湾に至る臨海部では、海水浴場、住宅街、散策路、マリーナなど近代的水辺環境が整備されているが、背後地とのコンテキストや景観的な連続性などについて計画的な配慮はなされていない状況が見られる。</u></p> <p>応募者らは、現状を鑑みることで先行研究として「中国の開港都市に見る歴史文化街区の保護に関する研究」(本学会誌 Vol31.No2, 2018.9)を行うことにより、青島市の歴史的都市環境の保護施策を捉える中で、「開港」や「臨海部」の水辺のある都市特性を反映させる取り組みは必ずしもなされていない状況であることを捉え、合わせて都市臨海部に対する調査・研究も皆無に等しい現状であることを認識するに至った。</p> <p>そこで本研究ではこうした現状を踏まえ、青島市の都市臨海部を構成する各地区を対象として、<u>来訪者が抱く水辺環境に対する意識や評価及び行動を捉え、人々の望む水辺環境のあり方や水辺と背後都市との有機的な関係性を築くための問題・課題を見出すことを目的とする。</u>今日、中国においては水辺環境への関心や認識が高まりつつあるが、本調査研究は今後の臨海部の水辺環境研究の分野拡大に寄与するものとする。</p>	
③ 活動内容	<p>本研究は、青島市の都市臨海部地区を調査対象地とすることで、<u>図 1 に示す膠州湾・青島湾・浮山湾の各背後地としての 3 地区を対象にして、来訪者へのアンケート票に基づく意識・行動に関する現地調査を実施する。</u></p> <p>調査概要</p> <p>① 3 地区を対象にしてそれぞれの地区ごとに来訪者(住民・市民・観光客)に対するアンケート票(面接調査法)を基に調査を実施する。各地区 500 サンプル無作為抽出(<u>現地調査は青島理工大学建築都市計画学科係研究室学生の協力を得る。</u>また、新たな方法として電子媒体 web を使った試行的調査を実施予定)</p> <p>② アンケート項目は、被験者属性(年齢・性別・職業・居住地)、来訪回数(交通手段・同伴者・来訪目的・来訪回数・滞在時間)、来訪場所評価(総合評価・総体評価<中間評価>・個別評価<一時評価>)、親水活動等。(アンケート票の設計 6 月, 集計方法検討 7 月)</p> <p>③ アンケート調査は現地の状況を勘案して適切な時期に実施する予定。(調査員配置場所・人員数等検討 6 月中)</p> <p>④ アンケート票は統計的分析手法に基づき、水辺環境の利用行動(利用圏域・交通手段・来訪回数と滞在時間)を把握し、水辺環境評価のレベル別分析(総合評価・総体評価・個別評価)、水辺環境評価の構造、親水活動内容等の把握を行う。(集計作業の方法検討,基礎統計量把握後に多変量解析等による潜在構造分析の検討)</p> <p>⑤ 水辺環境の物理的空間特性(空間規模・自然度・施設機能・用途等)の把握(図面・映像媒体記録等収集整理適宜)</p>	

図 1 青島市中心部と周辺湾域位置図

※②は必要性及び期待される事項についてご記入下さい。③は研究方法・手段について具体的にご記入下さい。

④		氏名	会・非	専門分野	所属・役職	住所	電話番号	E-mail
④ グループの構成	世話人	孫旭光	会	都市計画	青島理工大学・副教授	〒266033 青島市市北区撫順路11	0532-85073963	gdsunxg@aliyun.com
		畔柳昭雄	会	親水工学	日本大学理工学部・特任教授	〒2748501 船橋市習志野台7-24-1	047-469-5424	kuroyanagi.akio@nihon-u.ac.jp
	構成員	菅原 遼	会	合意形成	日本大学理工学部・助教	船橋市習志野台 7-24-1		
【その他】 調査員として学生協力を得る(6~7名程)	非							
⑥ 研究期間	2020年6月~2022年5月			⑧ 研究運営費	費目	内 訳	金額	
⑥ 開催場所 (開催頻度)	打合せ等	日大船橋校舎・青島理工大学(1~2回程度)・インターネットTV回線利用会議(随時)			交通費 印刷費 その他(具体的に)	交通費(成田⇄青島(現地視察))11万×2名=22万 交通費(青島⇄成田)11万×1名=11万 宿泊代1万×3名×3日=9万 アンケート票印刷代(1500部)7万 電子記憶媒体(SD・HDD等)8万 関連資料(書籍・地図他)3万	60万円	
	現地調査等	中国青島市						
⑦ 成果発表	発表先	日本沿岸域学会研究討論会・論文投稿						
	発表時期	2022年5月~8月予定						
						総額 60万円	(助成希望額 30万円)	

※④はグループの構成員総てについてご記入下さい。「会・非」については、会員・非会員の区別をご記入下さい。構成員を公募する場合はその旨及び公募人数をご記入下さい。⑥は開催場所とその頻度(回/月, 回/年)をご記入ください。⑦は日本沿岸域学会内での発表先(研究討論会、論文投稿等)と発表時期をご記入ください。⑧の交通費、印刷費、その他は、費目ごとの内訳とそれぞれの金額を、助成希望額は30万円以下の金額をご記入下さい